

農水産物輸出促進計画(北海道)の概要①

輸出促進計画の概要

屋根付き岸壁の整備

連携水揚港湾

紋別港・根室港・増毛港・枝幸港・苫小牧港

屋根付き岸壁



連携水揚港湾における屋根付き岸壁整備により、商品価値を向上させ、輸出競争力を強化

輸出販路**拡大**

魚価 **UP**

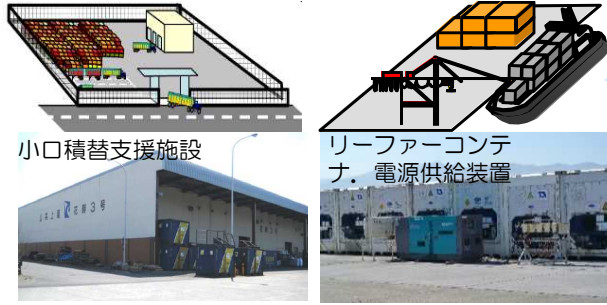
ブランド力**UP**

輸出拠点港へ**集約**

農産品

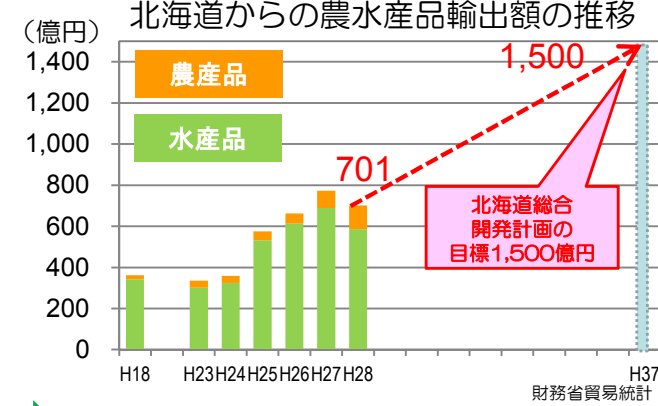
輸出環境の改善

輸出拠点港湾 石狩湾新港・苫小牧港



増加する道産農水産物の輸出需要に対応するため、輸出拠点港湾において小口積替円滑化支援施設やリーファーコンテナ電源供給装置を整備し、輸出環境を改善

海外へ輸出



政府目標達成へ貢献

2019年の農林水産物・食品の輸出額 1兆円

本計画の対象とする農水産物

水産品

ほたて、さけ、さんま、たら など

農産品

米、野菜、果物、製造食品 など

本計画の目標

輸出拠点港湾における目標値

北海道総合開発計画による道産食品輸出額の目標算定方法に準じて設定

目標輸出額

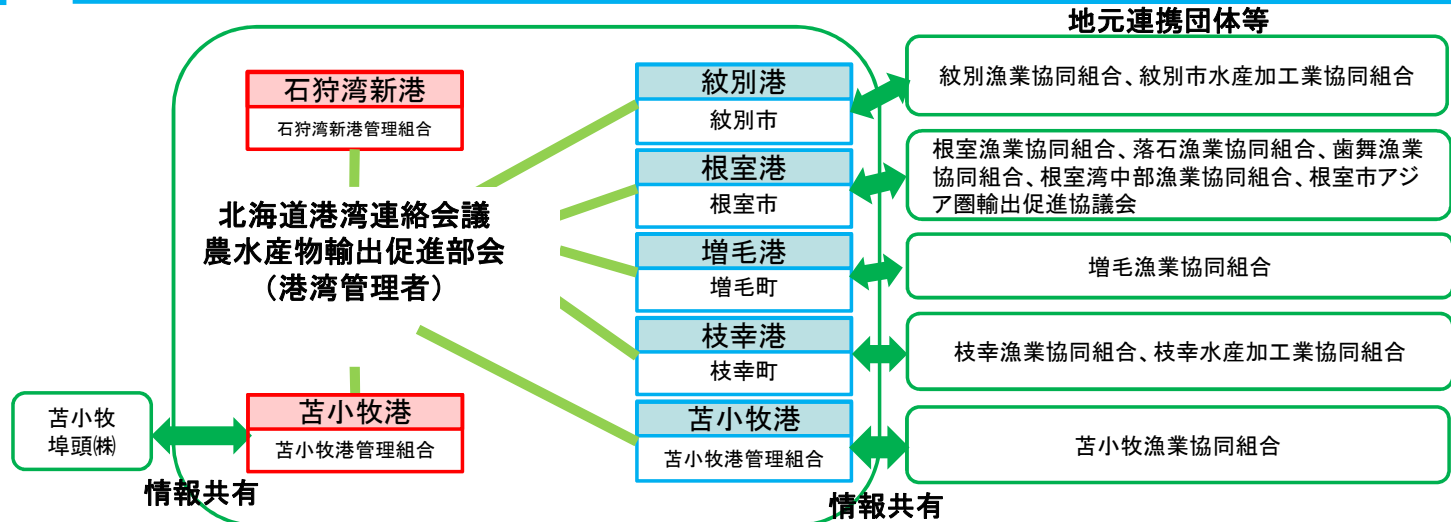
| 輸出拠点港湾 | H26実績値 | H37目標値 |
|--------|--------|--------|
| 石狩湾新港 | 95億円 | 197億円 |
| 苫小牧港 | 329億円 | 707億円 |

連携水揚げ港湾における目標

・輸出対象魚種の魚価について、過去10年平均の魚価以上となることを目指す。

・輸出対象魚種の輸出量について、増加を目指す。

本計画の着実な推進を図るための体制



※各港湾管理者は、地元の漁業協同組合、農業協同組合、物流事業者、関係市町村の農林水産担当部局等との情報交換を行うものとする。

農水産物輸出促進計画(北海道)の概要②

本計画における各港の計画

増毛港（連携水揚港湾）

施設整備計画

- ・屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- ・韓国等のバイヤーの積極的な現地視察受入
- ・衛生管理の向上により鮮度低下を防ぐ各種取組

枝幸港（連携水揚港湾）

施設整備計画

- ・屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- ・漁業者及び水産関係団体等により、「オホーツク枝幸ブランド」の定着及び拡大に向け活動

紋別港（連携水揚港湾）

施設整備計画

- ・屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- ・「紋別港水産物輸出促進協議会」による輸出促進活動
- ・紋別漁協による衛生機能向上への取組み
- ・「浜の活力再生プラン」による紋別水産物のブランド化

石狩湾新港（輸出拠点港湾）

施設整備計画

- ・貨物積替円滑化支援施設の整備
- ・リーファーコンテナ電源供給設備の増設

施設整備以外の取組計画

- ・港湾管理者、物流事業者や荷主を中心に協議会等を設置、外資コンテナ貨物による農水産物・食品の新たな創貨や集荷等を検討

根室港（連携水揚港湾）

施設整備計画

- ・屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- ・「根室市アジア圏輸出促進協議会」による東南アジア地域等への冷凍さんまの販路拡大活動に取組む計画

苫小牧港（輸出拠点港湾・連携水揚港湾）

施設整備計画

- ・民間企業による冷凍・冷蔵倉庫の建設
- ・屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- ・「苫小牧港漁港区将来ビジョン21検討会」による、東南アジア向けの各種水産物の輸送実験
- ・農産物の通年出荷に向けた取組
- ・「フードビジネス・ロジスティクス・イノベーション推進協議会(仮称)」を設置し、新商品開発と輸出拡大に取組む

コンテナ船等
により輸出

国際フィーダー船等
により輸出

